

今月号の内容

| | |
|---------------------------------|----|
| 1. ベルギーの政治・社会動向 | 1 |
| 2. ベルギーの経済・産業動向 | 3 |
| 3. 月例経済指標..... | 5 |
| 4. EUの動向 JETRO ビジネス短信より | 6 |
| 5. お知らせ | 10 |

1. ベルギーの政治・社会動向

1 フランダースで極右政党「フランダースの利益 (Vlaams Belang)」が台頭

アントワープ大学が現地紙と共同で実施した最新の世論調査によれば、6月のベルギー総選挙を前に、極右政党「フランダースの利益 (Vlaams Belang)」が、フランダース地域で約28%と過去最高の支持率を記録した。同党は、フランダース地域とベルギー全体の両方で最大政党の地位を固めつつある。一方、より穏健な右派政党で、2019年の総選挙では同地域で最大政党となった「新フランダース連合 (N-VA)」の支持率は20%を下回った。「前進 (Vooruit、社会党系・旧 sp.a)」は、13.7%と大きく離され第3党となった。「キリスト教民主フランダース (CD&V)」は11.3%で、2019年の選挙結果を大きく下回っているが、支持率は昨年からは回復し、下げ止まりがみられる。(2024年3月1日)

2 中国がベルギーなどにビザなし渡航を拡大

中国外交部は、ベルギー、スイス、アイルランド、ハンガリー、オーストリア、ルクセンブルクの6カ国に対して、2024年3月14日から11月30日までビザ免除措置を適用すると発表した。一般旅券所持者がビジネスや、観光、親族・友人訪問などを目的とする場合、15日以内の滞在はビザを免除する。中国政府は、就労・留学・観光目的の外国人入国の利便性を向上するとしている。(2024年3月7日)

★詳細はジェットロビジネス短信(2024年3月8日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2024/03/4e3de0278193036a.html>

3 ブリュッセルで初の原子力エネルギー・サミット開催

EU理事会(閣僚理事会)の議長国ベルギーと国際原子力機関(IAEA)は、ブリュッセルで初の「原子力エネルギー・サミット」を開催し、30以上の国・地域が参加した。連邦政府のド・クロー首相はサミットで、政府が2022年に合意した、国内で稼働中の2基の原子炉の10年間延長について、さらに10年間延長することを支援することにも言及した。(2024年3月21日)

★詳細はジェットロビジネス短信(2024年4月8日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2024/04/ea6651ca1e7227a7.html>

4 欧州各都市向けのブリュッセル発の夜行列車が拡大

ブリュッセル発、欧州各都市行きの夜行列車の路線が拡大を見せている。ベルギーとオランダの鉄道会社であるヨーロッパ・スリーパー(European Sleeper)は、ベルリン行の夜行列

車の最終目的地をドイツ東部のドレスデンやプラハ（チェコ）まで延長し、運行を開始した。同列車は、週 3 回（月曜、水曜、金曜）運航、ブリュッセルを夜 7 時 22 分に出発し、ベルリンに朝の 6 時過ぎ、プラハに 11 時前に到着する。また、European Sleeper は、毎年新しい路線を開通するとし、2025～2026 年にはバルセロナ行きの路線も運行する見込み。（2024 年 3 月 21 日）

5 持続可能なレドックスフロー電池の産業用利用に向けた実証試験を開始

ヴァン・デ・ストラテン・エネルギー大臣立会いの下、ベルギーの建設エンジニアリング大手ヤン・デ・ヌルと仏エネルギー大手エンジー、仏大手建設ブイグ傘下のエクアンスは、バナジウムを利用して充放電を行うレドックスフロー電池（RF 電池）を産業規模で使用するための実証試験を開始した。アールストにあるヤン・デ・ヌルの敷地に、容量 880kWh のレドックスフロー電池を設置し、既存の太陽光パネル（578kW）と組み合わせ、エンジーのスマート・エネルギー・マネジメント・システム（EMS）で制御する。今後 4 年間で、RF 電池がどのように産業現場のエネルギー消費を最適化できるか調査する。消費ピーク時にはより多くの電力を供給し、ソーラーパネルの発電量よりも消費電力が少ないときには充電する、などの効果が期待される。RF 電池は、リチウムイオン電池を補完し、脱炭素社会への移行に向け付加価値をもたらす可能性が期待されている。（2024 年 3 月 27 日）

6 ブリュッセルで危険地域を特定、治安強化に向けた取り組みを開始

ブリュッセル首都圏の地域安全評議会は、麻薬密売・使用の危険地域として、マトンゲやブリュッセル南駅、北駅などの 15 カ所を特定した。これらの地域では、アルコールの販売と消費が禁止され、身元確認の組織的な実施や、危険物や薬物使用を助長する物品が没収される可能性がある。ブリュッセルでは麻薬の密売・使用を背景とした発砲事件が頻発する等、治安の悪化が問題となっている。（2024 年 3 月 29 日）

2. ベルギーの経済・産業動向

1 ホタテなど日本産海産物の商談会・試食会を実施

ジェトロは、ブリュッセルで、ホタテを中心とした日本産海産物のイベントを実施した。同イベントは、卸し・レストラン関係者向けの商談会と、現地メディア関係者やインフルエンサー向けの試食イベントの2部構成で実施した。東日本大震災の発生から13年を迎えたこの日、ジェトロのイベント後には、欧州連合日本政府代表部と在ベルギー日本大使館が東北産食品などの日本食レセプションも開催した。(2024年3月11日)

★詳細はジェトロビジネス短信(2024年3月21日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2024/03/ef9feed6d9947ff9.html>

2 欧州特許庁、2023年の特許統計を公表、ベルギーは女性の発明家の割合で3位に

欧州特許庁(EPO)は、2023年の特許統計を発表した。2023年のEPOへの特許出願件数は19万9,275件(前年比2.9%増)で、前年に引き続き過去最多となった。技術分野別の出願件数の上位3分野は、デジタル通信(モバイルネットワーク関連技術を含む)、医療技術、コンピュータ技術だった。一方、全技術分野の中で最も大きな出願件数の伸びを示したのは、バッテリーなどクリーンエネルギー技術に関連する発明を含む電気機械、装置、エネルギー(前年比12.2%増)だった。EPOへの出願のうち、27%に女性発明者が含まれており、欧州特許条約(EPC)加盟国の中では、スペイン(46%)、フランス(33%)、ベルギー(32%)において女性発明家の割合が高かった。(2024年3月19日)

★詳細はジェトロビジネス短信(2024年3月21日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2024/03/21abc1c383f60aaf.html>

3 Parkwind らがノルウェーの洋上風力の開発計画を落札

ベルギーの大手洋上風力発電事業者 Parkwind は、イケアの親会社である Ingka グループの投資部門と共同で構成するコンソーシアム Ventyr が、北海のノルウェー海域南部の洋上風力の開発計画(Sørlige Nordsjø II)を落札したと発表した。同計画の発電容量は3.0GWで、一段階目となる最初のタービン(1.5GW)は2030年までに稼働する予定。ノルウェーは2040年までに30GWの洋上風力発電の確立を目指している。Parkwind はルーヴェン市に所在し、東京電力と中部電力の燃料・火力部門を統合して設立された JERA が、2023年に子会社を通じて株式の100%を獲得している。(2024年3月20日)

★詳細はジェトロビジネス短信(2024年3月22日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2024/03/b6d550418cadb43c.html>

4 チョコレート製造大手バリール・カレポー、新投資計画を発表

報道によれば、チョコレート製造大手バリール・カレポーは、ベルギー国内の2工場に合計1億5,000万ユーロ以上を投資する。同社は先月、世界で2,500人の雇用を削減し、約2億5,000万ユーロを節約した上で、イノベーションやサステナビリティのために、新たに5億ユーロの投資を行う計画を発表していた。全世界で60以上のチョコレート工場を運営する同社は、その投資の大部分をベルギーの2カ所の生産拠点に振り向けるとしている。一方で、労働組合はコスト削減計画には賛同しておらず、雇用削減を抑えるよう、経営陣に要求している。同社は世界中で1万3,000人以上を雇用しているが、ヨーロッパで700人規模の解雇を計画

している。ベルギー国内では従業員 1,800 人のうち 500 人が職を失う恐れがある。(2024 年 3 月 21 日)

5 AI でビールの味と品質の比較が可能に

フランダース生物工学研究所 (VIB) は、ルーヴェン微生物学センターとルーヴェンビール研究所の研究チームと共同で、ビールの味と品質を予測できる人工知能 (AI) モデルを開発したと発表した。ビールの味や品質の比較は主観的なものとなりがちで、長年大きな課題であった。研究チームはビールを化学的に分析し、ビールの味を構成するフレーバー化合物をマッピングした。その後、AI モデルで化学的分析をフレーバースコアとリンクさせた結果、人が実際に試飲する前にビールの最終スコアを予測し、主要なアロマを特定できる。同モデルは、既存の市販されているビールの風味の改善に使われており、他の食品にも応用可能で、新しい食品の製造方法につながる可能性があるという。(2024 年 3 月 26 日)

6 EU の 2022 年の労務費、ベルギーは域内 3 位に

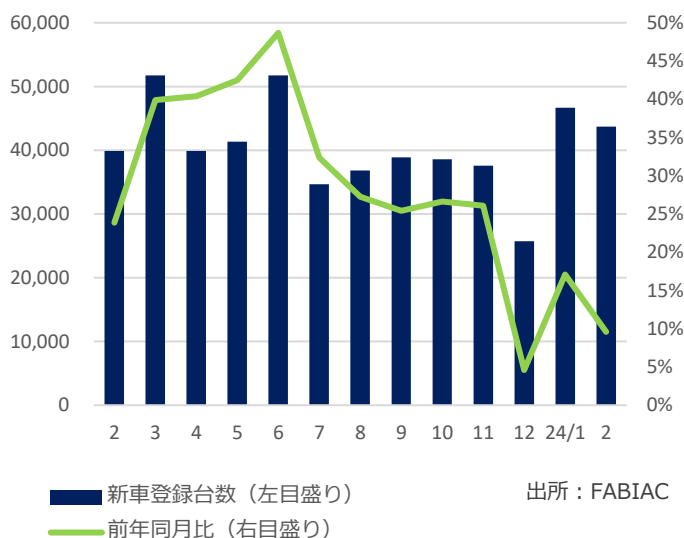
ユーロスタットは、EU 加盟国の 2023 年の時間当たり労務費 (社会保障などを含む推計値) を発表した。EU27 カ国の平均労務費は 31.8 ユーロ (前年 30.2 ユーロ)、ユーロ圏では 35.6 ユーロ (34.0 ユーロ) だった。時間当たりの労務費が最も高い国はルクセンブルク (53.9 ユーロ) で、デンマーク (48.1 ユーロ)、ベルギー (47.1 ユーロ) が続いた。最も低い国はブルガリア (9.3 ユーロ) で、ルーマニア (11.0 ユーロ)、ハンガリー (12.8 ユーロ) となった。(2024 年 3 月 27 日)

3. 月例経済指標

2月の新車登録台数 前年同月比 9.6%増

ベルギー自動車工業会（FEBIAC）によれば2月の乗用車の新車登録台数は、4万3,723台（前年同月比9.6%増）となった。ベルギー市場は、企業による需要に支えられている傾向が強いものの、2月の伸びは個人需要（同13.9%増）に牽引されたという。メーカー別では、BMWのシェアが9.99%と最大で、フォルクスワーゲン（8.37%）、アウディ（7.22%）が続いた。（2024年3月4日）

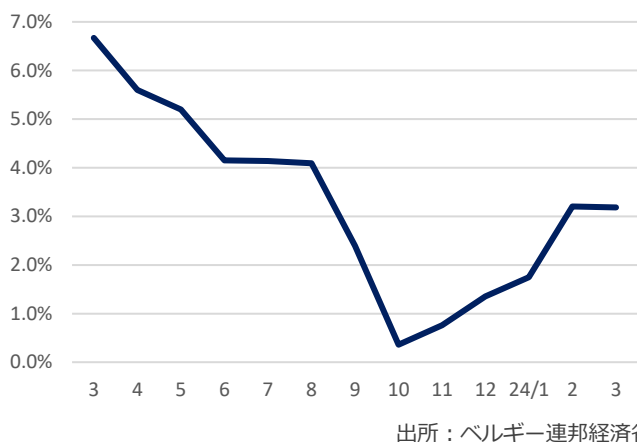
新車登録台数の推移



3月のインフレ率 前年同月比 3.18%上昇

連邦経済省の発表によると、3月の消費者物価指数は前年同月比で3.18%上昇した。果物、天然ガス、車両の維持管理、チョコレート・菓子類、衣服、海外旅行、休暇村が押し上げ要因となった。他方、アルコール飲料と野菜が押し下げ要因となった。食品のインフレ率（アルコール飲料を含む）は3.21%で、12カ月連続で低下した。（2024年3月28日）

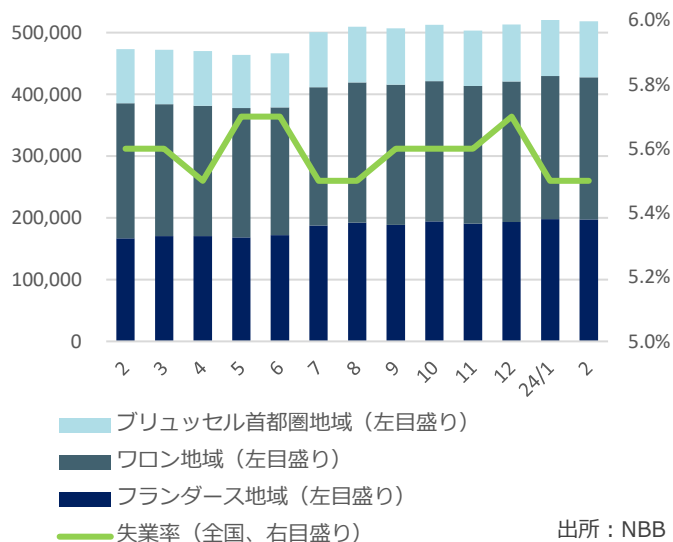
消費者物価上昇率（前年同月比）



2月の失業率 5.5%、前年同月比 0.1ポイント減

ベルギー国立銀行（NBB）によれば、国内の2月の失業率（季節調整値）は、5.5%（前年同期比0.1ポイント減）だった。各地域政府が発表した失業率をみると、ブリュッセル首都圏地域の1月の失業率は、前年同期比（以下同じ）0.5ポイント増で15.0%、フランダース地域は、0.8ポイント増で6.7%となった。ワロン地域は、0.7ポイント増で14.2%となった。地域別の失業者数では、フランダース地域が19万7,690人、ワロン地域が22万9,832人、ブリュッセル首都圏地域が9万715人だった。（2024年3月6、18日）

失業率と地域別失業者数の推移



※ベースとなる労働力人口の算出方法は地域により異なる。

4. EUの動向 | JETRO ビジネス短信より

- (1) EU、炭素除去の認証枠組みに関する規則案で政治合意（2024年3月1日付）
<https://www.jetro.go.jp/biznews/2b1171f0b5891b2e>
- (2) 欧州委、再エネ技術などに必要な先端素材の戦略発表、域内エコシステム強化目指す（2024年3月1日付）
<https://www.jetro.go.jp/biznews/f820a100d54e92cb>
- (3) 欧州委、単一市場と競争力に関する年次報告書を発表（2024年3月1日付）
<https://www.jetro.go.jp/biznews/f2802f3c32f6bfcc>
- (4) AU 議長に就任したモーリタニアへの EU の期待（2024年3月1日付）
<https://www.jetro.go.jp/biznews/3a047bd08aa27966>
- (5) 2023年の欧州ヒートポンプ販売数、2013年以降初の前年比減（2024年3月4日付）
<https://www.jetro.go.jp/biznews/b6a155cc1680529c>
- (6) EU、農業生産者の抗議受け追加対応策を発表、共通農業政策見直しにも言及（2024年3月4日付）
<https://www.jetro.go.jp/biznews/bc6fe072bad2a5bd>
- (7) EU 理事会、政治合意済みの人権・環境デューデリジェンス義務化指令案を不採択（2024年3月5日付）
<https://www.jetro.go.jp/biznews/3bc33873bb10cf8a>
- (8) 水素分野の IPCEI 国家補助、ドイツは約 46 億ユーロに（2024年3月6日付）
<https://www.jetro.go.jp/biznews/e70221a1a20bfecb>
- (9) プーリア州のグリーン水素バレー、EU が支援（2024年3月7日付）
<https://www.jetro.go.jp/biznews/de2aac3c1ab8804c>
- (10) EU、第 13 回 WTO 閣僚会議について一部成果は評価（2024年3月8日付）
<https://www.jetro.go.jp/biznews/6ccced224aa59e884>
- (11) ECB、主要政策金利を 4 会合連続据え置き、インフレ率は 2025 年に 2%達成見通し（2024年3月8日付）
<https://www.jetro.go.jp/biznews/299ff6b6a1eb4660>
- (12) EU、包装材のリサイクルや再利用、過剰包装禁止を義務付ける規則案で政治合意（2024年3月8日付）
<https://www.jetro.go.jp/biznews/783c82db1560ea37>

- (13) パーム油バイオ燃料めぐる WTO 判断を受け、マレーシアは EU の措置是正に期待
(2024年3月12日付)
<https://www.jetro.go.jp/biznews/7e8cf922f75659cb>
- (14) EU、強制労働製品の EU 域内での流通と域外輸出を禁止する規則案で政治合意
(2024年3月12日付)
<https://www.jetro.go.jp/biznews/7cab8666bab6c978>
- (15) 欧州委、ポーランド向けの EU 資金凍結を解除 (2024年3月12日付)
<https://www.jetro.go.jp/biznews/c4468e40b46d414a>
- (16) インドネシア、EU との第 17 回 CEPA 交渉会合を開催、3 分野で合意 (2024年3月14日付)
<https://www.jetro.go.jp/biznews/5dd6b300a6c4deef>
- (17) EU 理事会、ガス需要を自主的に削減する勧告で政治合意 (2024年3月14日付)
<https://www.jetro.go.jp/biznews/4663371c7e5791a0>
- (18) EU とユーロ圏の第 4 四半期 GDP 成長率、前期比横ばいも、雇用は拡大 (2024年3月14日付)
<https://www.jetro.go.jp/biznews/f42eb10697343495>
- (19) EU の対中貿易、2023 年は赤字幅縮小も、引き続き最大輸入相手国 (2024年3月15日付)
<https://www.jetro.go.jp/biznews/3d96733895de3f83>
- (20) 欧州人民党グループ、フォン・デア・ライエン委員長を次期委員長の筆頭候補に選出
(2024年3月15日付)
<https://www.jetro.go.jp/biznews/8a8bb23ce2d90f15>
- (21) 欧州委の研究機関、水素モビリティ導入加速に向け提言 (2024年3月15日付)
<https://www.jetro.go.jp/biznews/e18e4ca9d95921bc>
- (22) 欧州環境庁、初の欧州気候リスク評価を発表 (2024年3月18日付)
<https://www.jetro.go.jp/biznews/66958969c6edbed3>
- (23) EU 理事会、人権・環境デューデリジエンス法の妥協案を承認、対象企業を大幅減
(2024年3月21日付)
<https://www.jetro.go.jp/biznews/5e32542b4ca5fc93>
- (24) EU の人権・環境デューデリジエンス法の妥協案、産業界の不満根強く (2024年3月21日付)
<https://www.jetro.go.jp/biznews/ecc8cff0bbb0acfe>
- (25) 欧州特許庁、2023 年の特許統計を公表、前年に続き出願件数は過去最多 (2024年3月21日付)
<https://www.jetro.go.jp/biznews/21abc1c383f60aaf>

- (26) 世界銀行や EU もエジプトへの財政支援を発表 (2024年3月21日付)
<https://www.jetro.go.jp/biznews/4f9043ca6df86b83>
- (27) 欧州自動車部品工業会、EU 域内での投資減退と雇用減少に危機感 (2024年3月22日付)
<https://www.jetro.go.jp/biznews/b99284a2eb07f9c0>
- (28) EU、域内の国境越えた企業活動の行政手続きを軽減するデジタル会社法改正案で政治合意 (2024年3月22日付)
<https://www.jetro.go.jp/biznews/fd6ad8119aed3bee>
- (29) デジタル製品パスポート、第1弾パイロット展開プロジェクト報告会開催 (2024年3月21日付)
<https://www.jetro.go.jp/biznews/5b621335d2c16930>
- (30) ジェトロ、欧州特許庁と日系企業知財担当者の会合開催 (2024年3月25日付)
<https://www.jetro.go.jp/biznews/d77020e85095b792>
- (31) 欧州委、域内のバイオ産業強化策をまとめた政策文書を発表 (2024年3月25日付)
<https://www.jetro.go.jp/biznews/5a124d57fd052a84>
- (32) EU、医療データ空間法案で政治合意、研究開発目的で医療ビッグデータが利用可能に (2024年3月26日付)
<https://www.jetro.go.jp/biznews/f38474d3871f1ad8>
- (33) EU の包装・包装廃棄物規則案、日本酒などの容器は再利用目標の適用除外 (2024年3月26日付)
<https://www.jetro.go.jp/biznews/5a7c76d5b6eff0a2>
- (34) 欧州環境庁、循環型経済に向けた進捗を分析、政策提言も (2024年3月26日付)
<https://www.jetro.go.jp/biznews/558cbff7cf334806>
- (35) 欧州委、森林破壊防止デューデリジェンス規則の適用開始に向け準備進める (2024年3月27日付)
<https://www.jetro.go.jp/biznews/6324250902426ca6>
- (36) EU 人権・環境デューデリジェンス法の妥協案をドイツ産業界は批判、NGO などは歓迎 (2024年3月27日付)
<https://www.jetro.go.jp/biznews/ba0266049b4b3d1c>
- (37) EU、農業生産者とウクライナへの支援策相次ぐ (2024年3月28日付)
<https://www.jetro.go.jp/biznews/189da99d7cb14c8d>

- (38) 欧州委の研究機関、世界のバイオ技術の特許取得状況を分析 (2024 年 3 月 28 日付)
<https://www.jetro.go.jp/biznews/eba112692fc0914b>
- (39) 欧州委、域内の人材や技能不足の解消に向けた行動計画発表 (2024 年 3 月 28 日付)
<https://www.jetro.go.jp/biznews/53953c0c74873607>
- (40) EU と労使団体の対話、競争力強化や人手不足解消へ要望相次ぐ (2024 年 3 月 28 日付)
<https://www.jetro.go.jp/biznews/e488fd0803800691>
- (41) 世界の政治・経済日程 (2024 年 4~6 月) (欧州) (2024 年 3 月 29 日付)
<https://www.jetro.go.jp/biznews/2024/03/a8404d02c6448c53.html>

★次のページにレポート・イベント等のお知らせがあります。

5. お知らせ

★メールマガジン「ジェットロ EU トピックス」のご案内

ジェットロ・ブリュッセル事務所では、EU の最新情報や欧州域内のジェットロ各事務所が実施するセミナー情報などをお届けするメールマガジン「ジェットロ EU トピックス」を配信しています。配信日は毎月第 1 木曜日を目安としています。配信を希望される方は、以下のようにお申し込みください。

(1) 欧州域内にお住まいの方：以下の必要事項をご記入の上、ジェットロ・ブリュッセル事務所 (belinfo@jetro.go.jp) までお申し込み下さい。

①お名前とご所属先（英文・和文）、②お住まいの国名、③送付先メールアドレス

(2) 欧州地域以外に在住の方：以下の URL からお申し込みください。

https://www.jetro.go.jp/jetro/overseas/be_brussels/mail.html

※内容についてなど、ご質問などございましたら、ジェットロ・ブリュッセル事務所 (belinfo@jetro.go.jp) までお問い合わせください。

調査レポートのご案内

- 地域・分析レポート「[EU および欧州主要国の 2024 年の政治経済展望 現地所長が語る](#)」（2024 年 3 月）
- 地域・分析レポート「[欧州委、ETS2 の準備は『順調』、CBAM は『移行期間に適応を』](#)」（ジェットロインタビュー）（2024 年 3 月）
- 調査レポート「[EU 炭素国境調整メカニズム（CBAM）の解説（基礎編）](#)」（2024 年 2 月）
※特集「[EU の炭素国境調整メカニズム（CBAM）の動向と各国の反応](#)」もご参照ください。
- 調査レポート「[2023 年度 日本企業の海外事業展開に関するアンケート調査](#)」（2024 年 3 月）
- 調査レポート「[2023 年度 欧州・CIS 投資関連コスト比較調査](#)」（2024 年 3 月）

ジェットロでは、上記以外にも多くの欧州関連の調査レポート、地域・分析レポートを公開しています。以下 URL よりご参照ください。

<https://www.jetro.go.jp/reportstop/europe/reports/>

<https://www.jetro.go.jp/areareportstop/europe/areareports/>

ベルギー日本人会商工委員会ビジネスセミナー案内送付のお知らせ

ベルギー日本人会商工委員会と JETRO ブリュッセル事務所は、EU の政策動向、欧州各国の政治・経済情勢、労務・法務・会計等の制度情報など皆様のビジネスに関連するテーマを題材にしたビジネスセ

セミナーを年に 4 回程度開催しています。日本人会会員企業の方は無料で本セミナーにご参加いただけます。案内状の送付を希望される方は、belinfo@jetro.go.jp までメールアドレスをご連絡ください。

ベルギー拠点設立に関する専門家相談サービスのご案内（法務・労務・税務）

JETRO ブリュッセル事務所では、ベルギーに拠点設立を検討されている企業様、または進出後まもない企業様を対象に、弁護士・税理士等によるコンサルティングサービスを提供しています。2 時間まで無料でご利用いただけます。ぜひご活用ください。

サービス詳細・お申込み

<https://forms.office.com/r/MDqXipfgZf>

mailto:お問合わせ先 | ジェトロ・ブリュッセル事務所 (belinfo@jetro.go.jp)